

# 令和4年度 第69回 四国卓球選手権大会

## 一般・ジュニアの部 実施要項

1. 大会名 令和4年度 第69回四国卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
2. 主催 四国卓球連盟
3. 主管 一般社団法人愛媛県卓球協会
4. 後援 愛媛県教育委員会・（公財）愛媛県スポーツ協会・愛媛新聞社
5. 期日 令和5年2月11日（土）・12日（日）
6. 会場 松山市総合コミュニティセンター体育館  
TEL089-943-8188 愛媛県松山市湊町7丁目5番地
7. 競技日程 2月11日（土）9：00 開会式：混合ダブルス・団体戦（両種目を並行して実施）  
2月12日（日）9：00 開始式（表彰）・個人戦・閉会式
8. 競技規則 現行の日本卓球ルール及び日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策（最新版）による。（ゼッケンを必ず付け、姓名、県名、所属を明記すること。）
9. 実施種目 参加数及びその他連絡事項

### A. 団体戦の部

#### (1) 試合方法

- ① 男・女ともトーナメント方式により優勝を決定する。
- ② 男・女とも4単1複の3点先取とする。（1・2番の出場選手同士で、3番の複を組むことはできない。）
- ③ 外国選手の出場については1チーム1名以内で1試合につき1回のみ出場とする。
- ④ 監督1名・選手は4～6名でチーム編成をすること。
- ⑤ 準決勝からタイムアウト制を導入する。

#### (2) 参加数及び参加制限

- ① 参加数は各県9チーム以内で、同一所属からは2チーム以内とする。各県とも一般6、高校2、中学校1とする。ただし、高校・中学校が定数に満たない場合は、一般で補充できる。
- ② クラブチームは認めるが、生徒・学生（日学連登録者）を含めての編成は認めない。
- ③ 原則として高等学校は各県男・女とも2チーム以内とし、同一校からの2チームの出場は認めない。
- ④ 原則として中学校は各県男・女とも1チームとする。
- ⑤ 四国以外の大学に在学中の学生は出場できない。
- ⑥ いずれのチームも、各県卓球協会より選出されたチームに限る。
- ⑦ 一般のチームが出場枠に満たない場合、高校や中学校のチームで補充できる。この場合の高校・中学校とも補充するチーム数は制限しない。（推薦は除く）同一校からの2チームの出場は認めない。

### B. 個人戦の部

#### (1) 種目及び参加数

種 目	参 加 数	種 目	参 加 数	種 目	参 加 数
男子シングルス	8名以内	男子ハイシックスティ	4名以内	女子ローシックスティ	4名以内
女子シングルス	8名以内	男子ローセブンティ	4名以内	女子ハイシックスティ	4名以内
男子ダブルス	4組以内	男子ハイセブンティ	4名以内	女子ローセブンティ	4名以内
女子ダブルス	4組以内	男子エイティ	4名以内	女子ハイセブンティ	4名以内
混合ダブルス	4組以内	男子教職員	8名以内	女子エイティ	4名以内
男子サーティ	8名以内	女子サーティ	8名以内	女子教職員	8名以内
男子フォーティ	8名以内	女子フォーティ	8名以内	男子ジュニア	8名以内
男子フィフティ	8名以内	女子フィフティ	8名以内	女子ジュニア	8名以内
男子ローシックスティ	4名以内	(開催県は各種目（混合ダブルスを除く。）とも参加数を1.5倍以内とする。)			

#### (2) 試合方法

- ① 各種目ともトーナメント方式により優勝を決定する。ただし、参加者が3名の場合はリーグ戦とする。
- ② 各種目とも準決勝からタイムアウト制を導入する。
- ③ チェンジエンドは団体・個人戦とも全試合行う。

#### (3) 参加資格

- ① 当該県卓球協会に加盟している選手に限る。（四国の高等学校出身者で、四国以外の大学に在学中の選手についてはこの限りではない。）
- ② 個人戦への出場は1人1種目とする。また、外国籍選手は全種目出場できない。（ただし、全日本卓球選手権大会の要項に準ずる。）

- ③ 教職員の部は、教育関係団体(厚生労働省管轄含む)の教職員及び学校長が認めた外部コーチとする。  
 (4) 無条件参加選手※(1)の参加数以外に出場できる。(印:当該種目※ 上位種目△)

○ 四国大会関係

- ① 令和2年度のジュニアシングルス、一般シングルのランキング保持者は、自身の保持する種目に出場できる。(ジュニアは当該種目か一般の部)。  
 ② 令和2年度の年齢制限のある種目のランキング保持者で、次の年齢種目に達した時は、ランキング保持種目又は年齢が達した種目のいずれかの種目に出場できる。その他の種目は無条件参加枠はない。  
 ③ 当年度四国高等学校選手権大会でシングルのベスト4以上の選手について、3年生は一般の部、1・2年生はジュニアの部か一般の部に出場できる。  
 ④ 当年度四国中学校総合体育大会でシングルのベスト4以上の選手について、3年生はジュニアの部か一般の部に出場できる。1・2年生はカデットの部、ジュニアの部、一般の部のいずれかの種目に出場できる。  
 ⑤ 令和2年度四国卓球選手権大会で、上位種目のランキング選手は該当年齢種目に出場できる。

○ 全国(全日本選手権)大会関係

- ① 令和3年度(2021年)全日本選手権大会(カデット(シングルのみ))、令和3年度(2022年)全日本選手権大会(S、D、ジュニア)及び、当年度全日本卓球選手権大会(ホープス、カブ、バンビ)のランキング保持者(組)は、ランキング保持種目か上位種目のいずれかの種目に出場できる。  
 ② 令和3年度(2021年)全日本卓球選手権(マスターズ)のランキング保持者は、当該種目、上位種目、一般の部のいずれかの種目に出場できる。  
 ③ 当年度全国高等学校選手権大会、全国中学校大会のシングルのランキング保持者は当該種目か上位種目に出場できる。(高校3年生は一般の部、高校1・2年生及び中学3年生はジュニアの部か一般の部)  
 ④ 当年度全国高等学校選手権大会のダブルスのランキング保持者は男女ダブルスに出場できる。  
 ⑤ 上記以外で、当年度の全日本選手権大会(一般・ジュニアの部)に何らかの理由で推薦になった選手も出場できる。

(5) 年齢制限

- サーティの部 平成5年(1993年)4月1日以前に生まれたもの
- フォーティの部 昭和58年(1983年)4月1日以前に生まれたもの
- フィフティの部 昭和48年(1973年)4月1日以前に生まれたもの
- ローシックスティの部 昭和38年(1963年)4月1日以前に生まれたもの
- ハイシックスティの部 昭和33年(1958年)4月1日以前に生まれたもの
- ローセブンティの部 昭和28年(1953年)4月1日以前に生まれたもの
- ハイセブンティの部 昭和23年(1948年)4月1日以前に生まれたもの
- エイティの部 昭和18年(1943年)4月1日以前に生まれたもの
- ジュニアの部 平成17年(2005年)4月2日以降に生まれたもの  
(高校2年生以下とする。)

10. 使用球 ニッタク: 3スター プレミアムクリーン、VICTAS: VICTAS VP40+ 3スター  
 バタフライ: バタフライ 3スターボール R40+ を使用する。

11. 参加料 団体1チーム 10,000円(一般・高校・中学とも)、シングルス1名 2,000円、  
 ダブルス1組 3,000円(各県一括入金のこと。)

振込先: 愛媛銀行 松前支店(普) 7312104

「一般社団法人愛媛県卓球協会 代表理事 鶴岡勝郎」

12. 申込締切日 令和4年12月24日(土)必着(各県でまとめて一括で申し込んで下さい。)

13. 申込先 〒791-3142 愛媛県伊予郡松前町上高柳 399-1 一般社団法人愛媛県卓球協会 宛  
 E-mail: ehimekenntta@yahoo.co.jp 遠藤美武 090-7147-8249

14. 監督及び 令和5年2月11日(土) 8:00~

代表者会議 松山市総合コミュニティセンター体育館1F 会議室

※団体戦に出場するチームの監督は必ず参加すること。

団体戦のメンバー変更は、監督会議でのみ変更できる。

個人戦は変更を認めない。参加申込みの不備による追加・変更は認めない。

15. 練習日時 2月10日(金) 14:00~17:00

11日(土) 8:00~8:25(香川・徳島), 8:25~8:50(高知・愛媛)

12日(日) 8:00~8:25(香川・徳島), 8:25~8:50(高知・愛媛)

16. その他 (1) 前年度の総合優勝県は開会式で優勝杯の返還をしてください。令和元年度の男女団体  
優勝チームは、開会式で優勝杯の返還をしてください。

(2) 傷害等の応急処置は行いますが、その後の責任は負いません。

(3) 1日目の参加者は開会式に・2日目の参加者は開始式に参加してください。

(4) 個人戦の審判は敗者審判とする。ただし、初戦と準決勝戦以降は開催県で行う。

17. 四国卓連理事会 令和5年2月11日(土) 13:00～  
松山市総合コミュニティセンター体育館1F 会議室

**※ 持ち込んだゴミや弁当殻は必ず各自で持ち帰ってください。**